

2019年1月27日

プレスリリース  
報道機関各位

---

## いじめのない世界をめざそう ピンクシャツデー月間 キックオフ 講演会「みんなちがってみんないい!」2/1(土)

---

昨年10月に発表された文部科学省の「問題行動調査」では、いじめの認知件数が、小・中・高校・特別支援学校合わせて前年度比12万9,555件増の54万3,933件で過去最多を更新したことが報告されています。そのうち小学校が8割近くを占めています。

そのような中で、2月の第4水曜日を「ピンクシャツデー」として、いじめをなくす運動に取り組む、企業や団体が増えています。

横浜YMCAでは、全国各地に250カ所以上の拠点をもつYMCAとともに、2月の最終水曜日である26日の「ピンクシャツデー」に向けて、子どもから大人まで2万人以上が、いじめをなくそうとアクションを起します。

横浜YMCAでは、2月をピンクシャツデー月間として、2月1日(土)に、キックオフイベントとして講演会「みんなちがって みんないい!」を開催します。障がいや多様な背景のある方が、自らこれまでに困ったことや大変だったこと、分かってもらえてうれしかったことなどについて語り、いじめを自分事にするために、どうしたらいじめや差別、偏見をなくすことができるかなどについて共に考えていきます。

### ▼当事者の言葉から差別や偏見、いじめを自分事として考える

2月1日(土)午後2時から4時に、横浜中央YMCAにおいて、「ピンクシャツデー2020 講演会 みんなちがってみんないい!」を開催します。

講演会では、発達障がいの方に寄り添う方、在日朝鮮人として朝鮮人学校に通う学生、LGBTQとして性別にとらわれずに生きる方、外国につながる子どもの多い保育園の保育士などが、みんなと「ちがう」ことで、自分が困ったことや「ちがう」ということを理解してもらえたことなどについて話します。

## ▼自分事にするためのグループワークも

講演会では、参加者が登壇者の話を聞いての感想や、日ごろの中で何気なく生じている差別や偏見にも気づく機会として、グループに分かれ、ディスカッションの時間を持ちます。

いじめにつながる差別や偏見のない社会を目指し、いじめのない世界をめざす一員として考える機会とします。

## ▼ピンクの付箋に思いを記入し、ピンクのTシャツをつくる

いじめのない世界をどのようにつくっていくか、子どもから大人まで、横浜YMCAを訪れている、それぞれが、設置されたピンクの付箋(用紙)に、いじめの無い世界をくくるための思いを記入しています。その付箋で大きなピンクのシャツを完成させていきます。

一人ひとりが、それぞれの立場で、日ごろから人と接するにあたり大切にしたいこと、思いやりの気持ちを持つこと、お互いに声をかけ合うことの大切さなどといった、いじめをなくすために、自分事として捉えて考えたメッセージが貼付されていきます。



### 【ピンクシャツデーとは】

2007年にカナダでピンクのポロシャツを着て登校し、いじめられた少年のために先輩2人がピンクのシャツを着ようと呼びかけ、賛同した多くの生徒がピンクのシャツや小物を身につけ登校し、いじめは自然となくなったそうです。以降、その出来事があった2月の最終水曜日を「ピンクシャツデー」とし、いじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す日としています。

ピンクシャツデー月間 キックオフ  
講演会「みんなちがってみんないい!」  
<実施要項>

日 程 2020年2月1日(土) 午後2時~4時

会 場 横浜中央 YMCA 9階  
〒231-0014 横浜市中区常盤町 1-7

定 員 100人

参 加 費 500円(当日受付にて)

主 催 公益財団法人 横浜 YMCA

主 管 横浜北 YMCA

登 壇 者 発達障がいの方に寄り添う方、在日朝鮮人として朝鮮人学校に通う  
学生、LGBTQとして性別にとらわれずに生きる方、外国につながる  
子どもの多い保育園の保育士 などが登壇し体験を語ります。

---

この件の問い合わせは、

横浜北 YMCA  
横浜 YMCA 広報

山中 Tel 045-433-4321  
池田 Tel 045-662-3721  
ikedanaoko@yokohamaymca.org  
へお願いいたします。